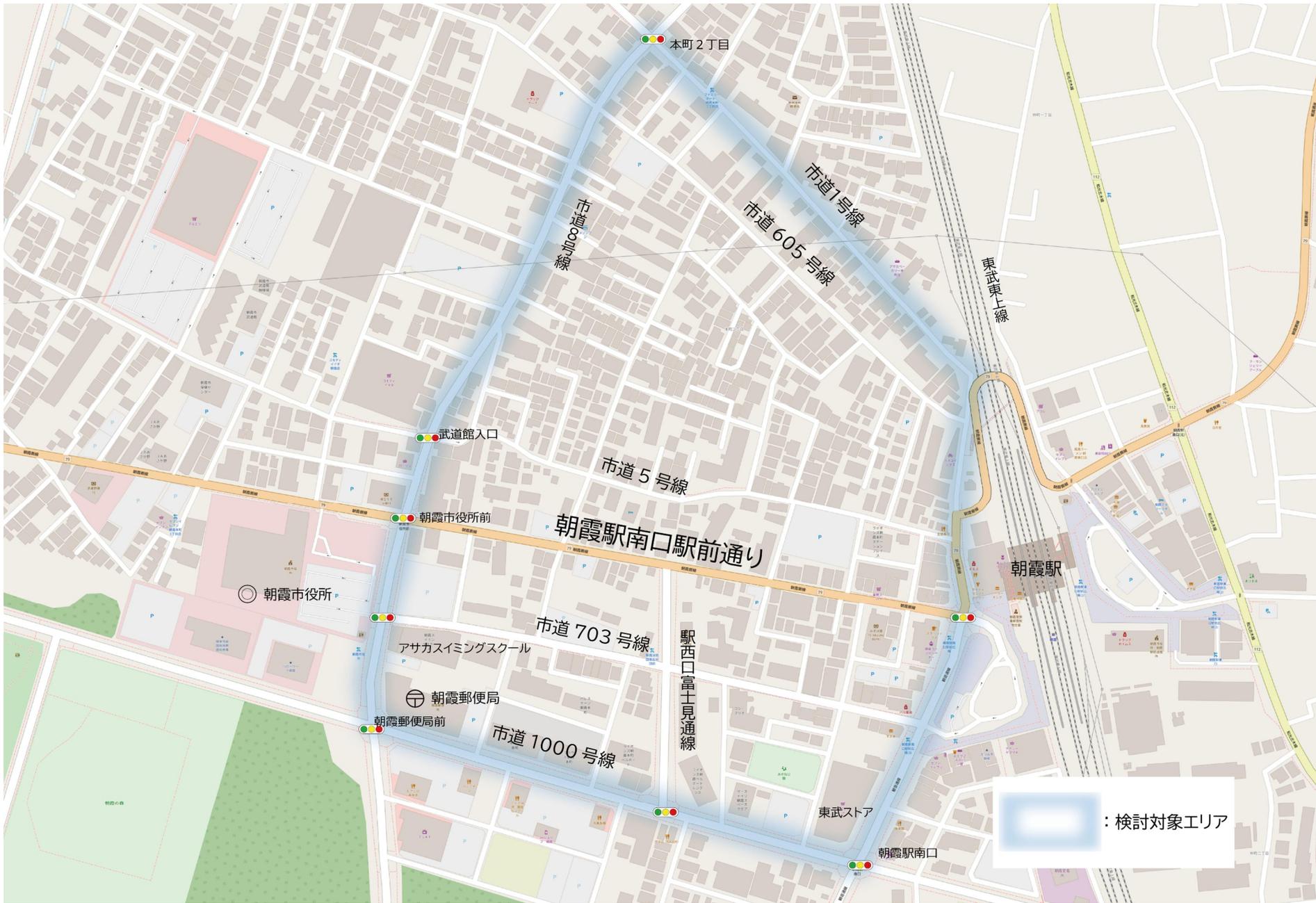


朝霞駅南口周辺の交通安全対策 を考えるワークショップ



令和6年1月27（土）、1月29日（月）

● 朝霞駅南口周辺地区 (検討対象エリア)



検討対象エリア

● 駅前通りに関する取組の経緯

◆ 駅周辺における整備事業

- ・広沢土地区画整理事業(S61～H18.3) ・朝霞駅南口広場等整備事業(H18～H19)

◆ H27「商店街の活性化」を目的にアメニティロード化社会実験

- ・地元の合意形成に至らず、駅前通り一方通行化の本格実施は見送り

社会情勢の変化

車中心から
人中心の
まちづくりへ転換

コロナ禍

痛ましい交通
事故の発生

◆ R1～ ウォーカブルなまちづくりの推進

- ・朝霞駅からシンボルロード周辺エリアにおいてアサカストリートテラス等の社会実験(R2～)
- ・エリアにおいて居心地がよく歩きたくなるまちなかと魅力的な商業エリアの形成を目指す官民連携組織「あさかエリアデザイン会議」始動(R3～)
- ・エリアの未来を描いたエリアビジョン策定(R4)

◆ R1～ 身近な生活道路の安全対策の推進

- ・東弁財地区において、通学路の安全対策実施
- ・ワークショップを踏まえ、交差点にハンプ等の安全装置を設置

◆ R4 歩きやすい駅前通りを考えるワークショップの開催(8/26, 27)

- ・駅前通りの一方通行化や、周辺道路を含めた安全対策の検討
- ・「安全で快適な歩きやすい道づくり」を目指す

◆ R4 各商店会、町内会から市長宛ての「交通安全対策の実施について」(要望)

- ①駅前通りにおける一方通行規制と無電柱化の実施
- ②駅前通り及び周辺道路におけるゾーン30プラスなどの面的な交通安全対策の実施及び歩行者等に配慮した道路環境整備

朝霞駅周辺道路

朝霞駅南口駅前通り

道路幅員 最大 約10.0m 最小 約6.5m
(平日 午前8時頃)



朝霞駅南口駅前通り 道路幅員 最大 約10.0m 最小 約6.5m (平日 午後5時頃 雨天)



市道1号線 道路幅員 最大 約8.0m 最小 約4.5m

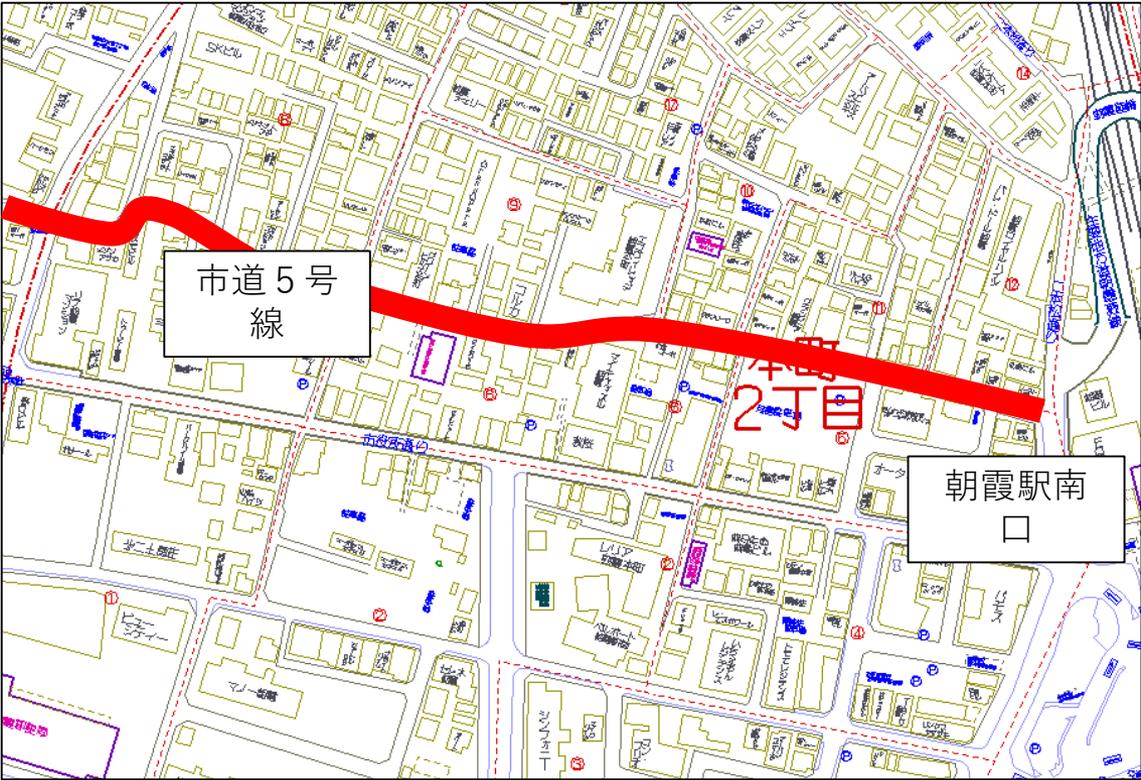


市道1号線(平日 午前7時40分頃)





市道5号線 道路幅員 最大 約8.0m 最小 約4.0m



市道5号線(平日 午前7時40分頃)



●ワークショップの進め方

- 本日は、第1回ワークショップで挙げた課題を振り返り、その後に行った実態の把握結果を報告し、安全対策について意見交換を行います

第1回ワークショップの振り返り

第1回の意見を取りまとめました

- ・ 現況の問題・課題について【資料1】
- ・ 朝霞駅南口駅前通りの再編に伴う将来の課題について【資料2】

実態調査の報告

これまでに調査した結果、ETC2.0 のデータ、実態調査、ヒアリング調査による実態を報告します【資料3】

- ・ クルマや歩行者の交通量
- ・ 路上駐車
- ・ 交通事故
- ・ クルマの走行速度
- ・ 駅前通りの荷捌き等

朝霞駅南口周辺地区の安全対策について

第1回ワークショップで挙げた現況の問題・課題、駅前通りの再編に伴う課題に対し、事務局で作成した対策案のたたき台をもとに意見交換します
なお、問題・課題に対する対応方針は、机上にある表で整理しています

●第1回ワークショップの様子



【ワークショップのルール】

- ①ひとりひとりの意見を尊重し、全員が作業に参加する
- ②お互いの話をよく聞き、他人に対する否定的な発言はしない
- ③参加者全員が公平に発言、説明できるように、短い時間で行うよう心掛ける

●今後のスケジュールについて（予定）

令和5年10～11月 第1回ワークショップ(10月29(日)、11月1日(水))

令和5年 11～12月 交通実態調査

令和6年 1月 第2回ワークショップ(対策の検討) ① R6.1.27(土)14時～
② R6.1.29(月)18時～

令和6年 4～5月 第2回交通安全対策協議会(社会実験の実施方針検討)

令和6年 7～8月 社会実験の実施(ハンプ等の設置)

令和6年 10月 第3回交通安全対策協議会(基本構想の検討)

令和7年 1～2月 第4回交通安全対策協議会(基本構想の検討)

令和7年 3月 朝霞駅南口周辺の交通安全対策に係る基本構想の策定

駅西口富士見通線
WSの開催